

氏名	桑木健志
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4245 号
学位授与の日付	平成 22 年 12 月 31 日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（一） （学位規則第 4 条第 1 項該当）
学位論文題目	Prognostic Model for Hepatocellular Carcinoma with Time-Dependent Factors (時間依存型因子による肝細胞癌の予後モデル)
論文審査委員	教授 土居 弘幸 教授 谷本 光音 准教授 八木 孝仁

学位論文内容の要旨

再発を繰り返す肝細胞癌の全病期に利用できる、時間依存性共変量を用いた予後モデルを構築した。1995年から2007年の間に岡山大学病院で治療を受けた肝細胞癌患者を対象とした。Training群（336人）をもとに、癌の初発時の背景因子と腫瘍側因子のみを用いる時間固定型予後モデルと、癌の再発毎に因子を更新する時間依存型予後モデルを構築した。testing群（227人）において生存時間解析における予測と観測の整合性の指標であるc-indexを用い、構築したモデルと従来のモデルの予測性能を比較した。時間依存型予後モデルは主腫瘍径、腫瘍数、門脈浸潤の有無、遠隔転移の有無、AFP、DCP、血清ビリルビン、血清アルブミンから構成された。Testing群におけるCLIPスコア、JISスコア、Okuda分類、構築した時間依存型モデルのc-indexはそれぞれ0.741、0.727、0.609、0.870であった。我々の構築したモデルは肝細胞癌再発時も利用でき、従来の時間固定型モデルよりも正確に肝細胞癌の予後を推測することができた。

論文審査結果の要旨

本研究は、再発を繰り返す HCC の全病期に利用可能な、「時間依存性共変量」を用いた予後モデルを構築するため、12 年に渡り岡山大学病院に蓄積されたデータをもとに解析した研究である。

予後モデル自体の validation についても研究デザインとして組み込んでおり、統計学的な分析もしっかりなされ、岡山大学病院における HCC 患者の予後について、一応の推定は可能なモデルとなっている。

しかしながら、構築された予後モデルを実際の臨床現場に活用するには、病期別の予後モデルの検討など、更なる改善が必要と思われる。今後のさらなる臨床研究に期待する。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。